

【世界にひろがる日本語と日本文化】

日本語日本文化教育センターは、 多彩なプログラムと事業を展開しています

※写真は2019年撮影のものも含まれています。



◎予備教育プログラム

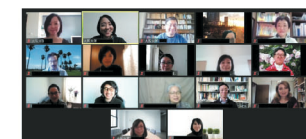
CJLCでは日本の大学へ進学することを目指す留学生たちへの教育も行っています。1年間(4月～翌年3月)の勉強を経て国立大学へ進学する国費学部留学生プログラム(Uプログラム)と、半年間(10月～翌年3月)の学習後、大阪大学へ進学する大阪大学ファウンデーションプログラム(Fプログラム)があります。



◎日本語・日本文化教育研修共同利用拠点事業



CJLCは2009年度に文部科学大臣より教育関係共同利用拠点(「日本語・日本文化教育研修共同利用拠点」)として認定を受けました。それ以降、他大学の留学生・日本語教育実習生・日本語教育に携わる教員のために、本センター開設授業及び海外教育事情に関する情報蓄積や意見交換の場を広く開放し、我が国における日本語・日本文化教育の質的向上と発展を支援しています。

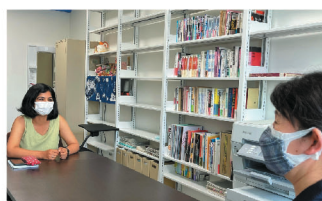


◎日本語・日本文化研修留学生プログラム

(日研生プログラム)

日本語・日本文化研修留学生(日研生)プログラムは、日本語・日本文化の分野を専攻する国費外国人留学生を対象とした11ヶ月のプログラムです。留学生たちは、将来、日本語・日本文化の分野で活躍する人材になることを目標に、毎日、日本語で専門的な授業を受けながら日本語と日本文化の勉強を頑張っています。

「研究コース」の学生は、指導教員の指導のもとで、日本語で論文を執筆します。「研修コース」の学生は、日本の企業等に見学に行き、日本語でレポートを作成します。



◎メイプル・プログラム

(短期留学日本語日本文化特別プログラム)

メイプル・プログラムは、短期留学日本語日本文化特別プログラムです。9月に開始し(授業は10月から開始)、翌年8月に修了します。毎年、20以上の国・地域から来た学生が、このプログラムで勉強しています。このプログラムの最大の特徴は、日本におけるさまざまな体験を通して学ぶことで、その一環としてProject-Based Learning(PBL)を行なっています。これによって、「知る」「伝える」「話し合う」というスキルを向上させ、「他の文化の人たちや社会とつながることができる人材」の育成を行なっています。

メイプル・プログラムホームページ
<https://maple.cjlc.osaka-u.ac.jp/>

